

臨床研究へのご協力のお願い

東京医科大学病院内視鏡センターでは、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究課題名]

細径経鼻内視鏡(GIF-1200N)の Narrow Band Imaging (NBI)を用いた食道・胃がん診断における有用性の検討

[研究の背景と目的]

2016年4月より対策型胃がん検診において、内視鏡検査が推奨され多くの地域にて行われています。無症状の検診受診する方々に対して苦痛の少ない経鼻内視鏡は受容性が高く、広く使用されています。一方経鼻内視鏡は細径であるために画像が劣るとされておりましたが、近年ハイビジョン画像の細径経鼻内視鏡(GIF-1200N)が開発されました。さらに内視鏡検査において、特殊光であるNBIを併用観察することにより、通常の観察に比べ診断能が向上することが報告されています。今回、この新しい細径経鼻内視鏡GIF-1200Nを用いて、通常の白色光観察における食道・胃がんを中心とした内視鏡診断の有用性、さらにNBI併用観察により食道・胃がん診断の向上が認められるかを検討いたします。

[研究の方法]

対象となる方

東京医科大学病院において、2020年3月1日より2020年8月31日までの間にGIF-1200Nにて上部消化管内視鏡検査を受けた200例の方。

研究期間

倫理委員会承認後から2022年12月31日

利用する検体やカルテ情報

細径経鼻内視鏡(GIF-1200N)の画像や年齢・性別などをカルテから情報として使用いたします。

検体や情報の管理

管理責任者河合隆のもと、画像・カルテ情報は東京医科大学病院にて閲覧し、外部には持ち出しません。

[研究組織]

(単施設研究の場合)

研究代表者:東京医科大学病院 内視鏡センター 主任教授 河合隆
共同研究者 東京医科大学病院 内視鏡センター 後期研修医 河合優佑
東京医科大学病院 内視鏡センター 兼任講師 柳澤京介
東京医科大学病院 内視鏡センター 兼任准教授 山岸哲也
東京医科大学病院 内視鏡センター 准教授 永田尚義
東京医科大学病院 内視鏡センター 教授 杉本光繁
東京医科大学病院 消化器内科 准教授 福澤誠克
東京医科大学病院 消化器内科 主任教授 糸井隆夫

[個人情報の取扱い]

本研究で得られた個人情報は符号をつけることで匿名化を行います。また、データシートなどには、名前、患者番号など個人の特定に通じる情報は記載せず、符号(データ番号)のみで対応させ、研究計画書に記載された目的以外の研究には使用しません。施錠と入室・入室管理のできる室内においてデータおよび両者の対応表は個人情報管理者(河合隆)によって厳重に管理されます。

[問い合わせ先]

東京医科大学病院
内視鏡センター(消化器内視鏡学分野)
主任教授:河合隆
准教授:永田尚義
電話番号:03 - 3342 - 6111(代表) 2702(内線)